

令和5年度 地域ぐるみ獣害対策推進事業 業務委託報告書

【概要版】

株式会社EGO

事業の目的

近年の野生動物被害の深刻化・広域化に対応するには、行政主導の捕獲や防除柵だけでは困難です。野生動物を人の暮らしに近づけさせない環境整備や防除の取組を地域の実情に合わせ地域ぐるみで継続的に実施することが重要です。

八王子市では、令和4年度から引き続き、野生動物の生態・行動特性についての学習会や、現状把握のための環境点検などを行い、自然環境・地形・作物など地域の実情にあった対策を住民が主体的に考え、取り組むことで農作物や生活被害の防止・軽減を図る地域ぐるみの取組を支援し、地域に定着させることを目指しています。

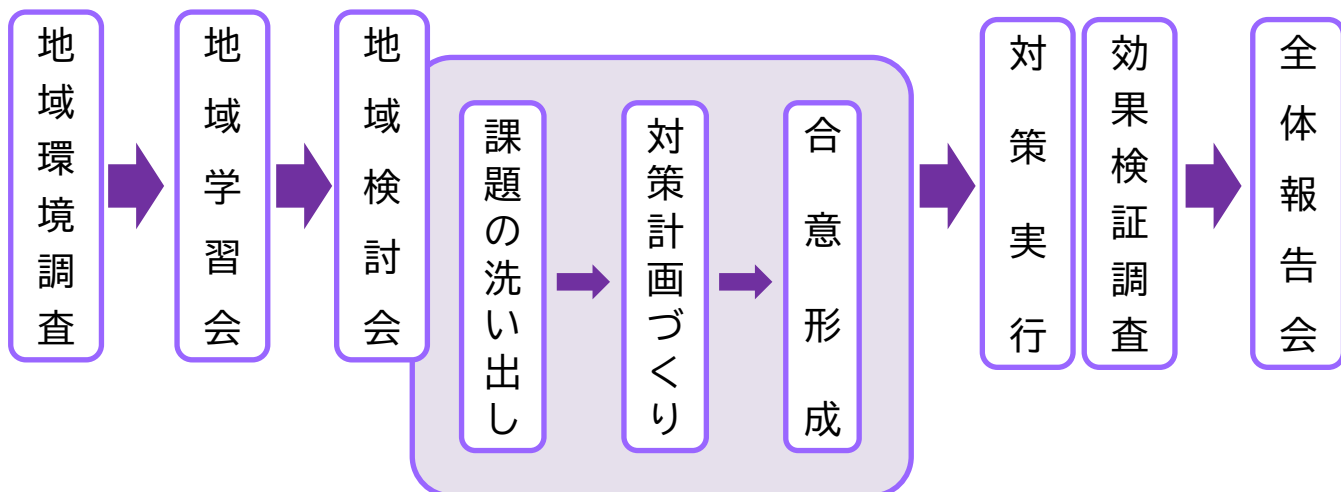
対象地域

継続地域： 八王子市上恩方町(8町会)・上川町・高月町

新規地域： 下恩方町大沢町会



事業の流れ



【新規地域】 下恩方町大沢町会

■地域環境調査結果

○良かった点	×被害対策が必要(課題)
<ul style="list-style-type: none">農地周辺の草刈がされているクリの伐採をしているイノシシ用の正しい柵が、多く設置されている人里周辺で、イノシシとシカの有害捕獲を実施しているサルの追い払いを的確に実施している	<ul style="list-style-type: none">シカとサルに適応した柵が少ない一部の既存柵で、隙間がある等、修正が必要な柵がある荒れた耕作放棄地が広くあり、イノシシのすみかとなっている巨大なクリの木が多くある空き家が増え、アライグマ等のすみかとなっている

■地域検討会結果 ■対策実状況

① ヤブ化した耕作放棄地対策(上ノ山地区)

- 広くシノダケが繁茂しており、3年前に重機を使い、一部刈払いを実施してみたが大変で、すべて刈払うのは困難と考えられた。
- ヤブから畑への侵入ルートが限られているため、ワイヤーメッシュ柵で畑への降り口を塞いだ。
- 地主が、耕作放棄地のヤブの刈払いを実施した。



柵設置状況



ヤブ刈払い
実施



柵外のイノシシ

② 連絡体制の強化

- 町会員と有害捕獲従事者でSNSグループをつくり、速やかに動物の出没情報等を共有して、サルの追い払いやイノシシの有害捕獲に役立てた。

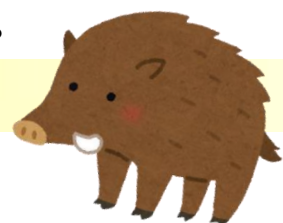
③ 耕作放棄地の活用

- 農地の賃借や売買、転用について、関連法規について勉強会を開いた。

■新たな課題発生！

○ 通学路近くに100kg級イノシシ出没

- 昨年末から年明けに巨大なイノシシが、人家の防犯カメラで撮影された。
- すぐにわなを設置したり、カメラでの監視を開始したが、その後は出没がなかった。



■対策実状況（上恩方町8町会）

恩方中学校ユズ収穫会・学校給食で活用

サルの冬場の主要な餌となる「ユズ」を収穫して、八王子市内の学校給食(冬至献立)で使用した。また、市からユズの所有者に支払った費用の一部を地域の獣害対策費として活用した。

収穫作業には、恩方中学校の生徒が参加し、作業前には、(株)EGOから獣害対策における果樹管理の必要性についてレクチャーを行った。



ユズ収穫会



ユズを使った学校給食

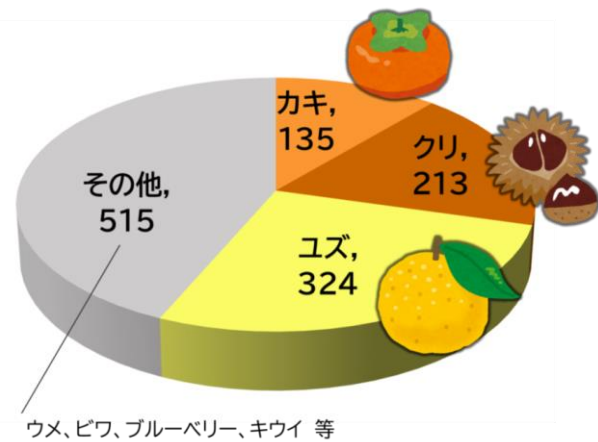
放任果樹需要量アンケート調査

野生動物を地域に誘引する主たる要因となっている放任果樹の対策に取り組むため、市で「放任果樹需要アンケート」調査を実施し、町会の協力のもと放任果樹の実態調査を行った。163戸に配布し、85戸から回答があった。

地域住民が所有する果樹の数や位置情報、収穫や剪定作業ができていない理由、収穫してない果樹の無償提供の可否等を調査した。

今後、地域検討会で集計結果を報告し、果樹の管理や有効活用等について検討を進めていく。

アンケート調査結果抜粋
「上恩方8町会にある果樹の本数」



ICT大型捕獲檻でサル「川井野群」捕獲



捕獲したサル




「川井野群」は令和3年度の神奈川県調査で109頭と、市内で最も個体数が多く、群れ分裂の可能性が高かった。そこで、令和4年度の地域検討会において、分裂回避のため個体数を減少させることが最優先となった。

令和5年度冬期に上恩方8町会の協力のもと、ICT大型捕獲檻で捕獲を行い、2回の捕獲で21頭(うち発信器装着のため2頭放獣)を捕獲することができた。




■地域研修会 ■地域検討会「獣害対策ロードマップづくり」

各地域の課題や実態に合わせた研修会や検討会を開催した。上川町ではサル対策を中心に3回の研修会を実施、上恩方町では、恩方中学校の生徒を対象に野生動物の生態や行動特性、出会った時の対処法などをお話しました。検討会は、上川町と高月町で行い、10年後を見据えた対策行動計画である「獣害対策ロードマップ」を作成しました。

上川町版 獣害対策ロードマップ

	短期(1~2年)	中期(~5年)	長期(5年~)
優先順位	高  シカ	中  サル	低  ハクビシン その他
対策	<p>■ シカ、サルに適応した柵を設置する</p> <p>誰が 柵の設置：個人 設置方法の普及指導：市の防除指導員</p> <p>方法 既存イノシシ柵をシカサル用に機能向上 失敗事例のまとめ</p> <p>支援体制 市・JA(川口支店)</p> <p>予算 1/4 補助金(JA)、1/2 補助金(市)</p> <p>■ サル追い払い</p> <p>方法 地域住民が定期的に追い払いを実施 追い払い広報、回覧</p>	<p>■ 新たな被害地域へのフォロー</p> <p>■ 有害捕獲</p> <p>誰が 猟友会</p> <p>実績 シカ年7頭捕獲</p> <p>課題 ハクビシン用の箱罠にネコが錯誤捕獲される →エサで工夫</p>	<p>■ 果樹の管理 特にクリ、ウメ</p> <p>課題 伐採した後の処理が難しい →薪にして提供</p> <p>相続放棄地の存在</p>

高月町版 獣害対策ロードマップ

	短期(1~2年)	中期(~5年)	長期(5年~)
優先順位	高  イノシシ	中  その他 アライグマ	低  シカ
対策	<p>■ イノシシを捕獲する</p> <p>体制 罠の管理：個人、複数人で交代制 罠の設置・技術指導：市、市の委託業者</p> <p>方法 現在、はこわな2基稼働中。追加3基希望。 餌：サツマイモ、カボチャ 時期：夏が捕まりやすい。</p> <p>課題 幼獣だけ捕獲し、母イノシシがスレている。 罠の目合いが大きく、アライグマが逃げてしまう。</p> <p>今後 捕獲手法の研修、研究 アライグマの捕獲を推進</p> <p>■ 刈り払い</p>	